

## 第2回

# 偶数手ばか詰作品展

## 解答編



開 催： 平成19年12月 2日

解答締切： 平成19年12月28日

解答発表： 平成20年 1月 1日

(遅れてすみません)

たくぼんの解図日記

<http://takubon-tumeshougi.269g.net/>

第2回偶数手ばか詰作品展の解答編です。解答者は前回13名から7名と約半分に減少してしまいました。魅力あるルールとは思いますが、ややイベント的にアピールが足りなかったかなと反省しております。そんな中、解答くださりました解答者の方々には感謝申し上げます。

### 偶数手ばか詰

通常のばか詰(先後協力して最短手数で、受方の玉を詰める)と同じですが初手後手(玉方)より指し始めます。

★ 1番～8番、短評を各々に書いてくれた赤土さんありがとうございました。ほとんどの方は1番から8番までまとめて短評を書いてくれましたので8番の作品のところに載せました。

### 第1番. 神無太郎 作 正解者7名

偶数手ばか詰 2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	▲ 角
								王	二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

【作意手順】

21角 22角 迄 2手

★21に置く駒で22に利きが無い駒は角と桂ですが、桂では逆王手になりますので角。

【短評】

赤土陽一—まずは、角打ちからですが、コンパクトで、双玉らしさが出ていますね。

### 第2番. 神無太郎 作 正解者7名

偶数手ばか詰 2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	▲ 角
									二
								馬	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

【作意手順】

21桂 22角 迄 2手

★1番と同様の筋ですが、角は品切れになりましたので桂に限定。

【短評】

赤土陽一—第一問との対比が面白いですね。両方とも馬が隠れていますね。

### 第3番. 神無太郎 作 正解者7名

偶数手ばか詰 2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲ 角
									二
									三
									四
									五
								馬	六
									七
								王	八
									九

【作意手順】

29銀 28角 迄 2手

★29に置く駒で28に利きが無いのは角と銀。角は品切れで銀に決定。

【短評】

赤土陽一 第一,二問を反転ただけで、打つ駒が変わるのは面白いです。

第4番. 神無太郎 作 正解者7名

偶数手ばか詰 2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲ 飛
									二
									三
									四
									五
									六
							王		七
									八
								王	九

【作意手順】

29金 18飛 迄 2手

★29に置ける駒で18に利きが無いのは飛と金。飛は逆王手がかかるので金。

【短評】

赤土陽一 今度は飛車シリーズ。しかし、次の第五問と比べると、少し、不満ですね。双玉にしなくてもいいのではと思ってしまいます。

第5番. 神無太郎 作 正解者7名

偶数手ばか詰 2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲ 飛
									二
									三
									四
									五
									六
									七
						飛			八
								王	九

【作意手順】

29金 18飛 迄 2手

【作者コメント】

一応シリーズの番外ということで。

★ 作者の言うようにこれは金バージョンの番外編。逆王手バージョンと品切れバージョンの違いです。ちなみに48飛が38だと初手29玉があります。

【短評】

赤土陽一 こちらのほうが、すっきりしていると感じてしまうのはどうしてなのでしょうかねえ？

★ 作者とすれ48飛の位置が58~98までどこでも可というのが気にいらなかったのかも。

★

第6番. 神無太郎 作 正解者7名

偶数手ばか詰 2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲ 金
									二
									三
								金	四
								金	五
								金	六
									七
									八
								王	九

【作意手順】

29飛 18金打 迄 2手

★ 29の駒は金は品切れで飛に限定。逆王手バージョンは無理かな。

★

【短評】

赤土陽一 金が縦にニヨキニヨキ。この形は、クリスマスの靴下？何が入っているかな？



【作意手順】

45金 58桂 47玉 25角 56玉 66金  
迄 6手

★ 9番の図の56歩を除けば10番の手順との2解となりますが、2解=余詰と受け取る方もいるし、手順が呼応しているわけでもないので2つに分けました。創意は10番の順ですが9番の順も意外と見えにくいのではと思ったのですが……。間違いでした(笑)

【短評】

真 T—第10番の筋が先に見えて、10番が右だからこっちは左だろうということで解けました。

香箱—初手発見に手こずるも、57飛の死角を狙ってようやく解決。

隅の老人 B—最初は駒を置いてみる、次は動かす。偶数詰は時間がかかる。

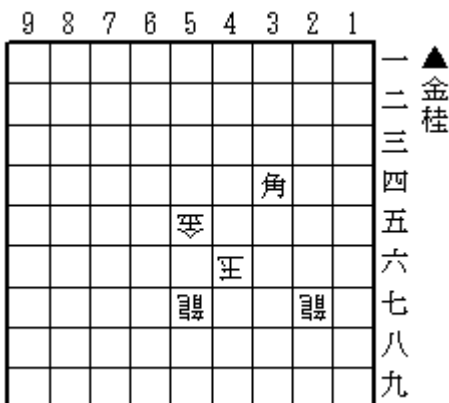
飯山修—姉妹作のこちらは早くとけました。

赤土陽—第十問との姉妹作の姉?(先に出てきているので)のほうですが、5八桂から、金打ちの流れが見えたので、意外にもすぐ解けました。やっぱり、姉のほうが素直なのですかねえ?

★9番と10番で先に解けたのは……ほぼ同数

第10番. たくぼん 作 正解者7名

偶数手ばか詰 6手



【作意手順】

65金 58桂 55玉 45金 56玉 46金  
迄 6手

【短評】

真 T—少しの違いで金の左右が変わるのは面白いですね。余詰めからの産物でしょうか?

★鋭い指摘……(汗)

橋本孝治—この2作は多分ツインを目指したものだと思いますが、9番がいかにも“付け足し”っぽいで、却って印象が悪くなった気がします。

★これも見抜かれてます。恐れ入りました。

香箱—同じく初手がなかなか見えなかったが、前問が45金ならこちらは65金か?と読んでみたら成程の両王手。

隅の老人 B—⑨でいろいろやりました。で、この両王手は既に発見。

飯山修—9番との違いの1つが飛が竜になっているのでこの違いを生かすには初手竜の斜め動きしかないと思ひ込み大苦戦。飛でも詰む作意でしたか。この両王手パターン作品はどれも苦手です。

赤土陽—この問題が一番時間がかかりました。ついつい、5六が空いたので、5六角と、角を動かしたくなりますね。第九問と比べてこちらのほうが、見えにくいですね。

第九問と第十問について:

おそろいの 布団(配置)で姉妹が寝てみれば寝返り打っても(5七や5六) 同じ寝姿(詰上がりの玉の位置)

★座布団4枚目です。

冬眠蛙—こちらは高級感があります。見事なツインです。

第11番. 赤土陽一 作 正解者 6名

偶数手ばか詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲なし
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

【作意手順】

86馬 56銀 66玉 67銀 77玉 78馬  
迄 6手

【作者コメント】

初手に玉方の大駒のソッポをやってみたくて作ったもので、その後も銀引きの連続が入って、うまくまとまりました。64桂は64〇(桂以外)、88馬、77金、同馬、66合い、56金を防ぐために攻方の駒を64におき、しかしながら、頭が丸くないと、44金、同銀、54玉、55金があるので、桂に落ち着きました。少し広がり過ぎていられるかもしれませんが、駒数が少ないので、そんなに気にならないと思います。では、よろしくお願ひします。

★今までは結構解きやすい作品が多かった作者ですが今回は紛れの多い難解作で登場。初手 88 金(飛)とか 56 金(飛)とか目に付きますがどれも足りず。43 歩が無ければ 88 飛で詰みます(この手順もなかなかいける)。合駒を取らない手順であれば銀と馬の組合せの詰型になるのでどちらかを近づければ・・・と考えれば 67 銀&78 馬の形も見えてきて初手 86 馬も閃くんですが、しかし合駒順を捨てるにはかなり読みきらないといけませんのでそう簡単ではないですね。作者も一皮向けて解答者の強敵に昇格したよ

うです。どうしましょう。

【短評】

真T一馬は13~79ラインか97~79ラインで使うと思って苦戦。64桂の感じがいいですね。

橋本孝治一一見1筋側に引きたい馬なので、この初手は効果的。今回の作品展では解くのに一番時間が掛かりました。

香箱一駒取りがある筈という見立てが外れて遠回り。

隅の老人 B一解くより、創る方が楽かな。でも、私には創れない。

飯山修一第1回の中村作に良く似ていて必要な駒は少なく紛れをどれくらい作るかという作品ですね。

赤土陽一一しかし、改めて見て、配置が広がりすぎですね。もう少しまとまった図にするように、推敲すべきでした。

冬眠蛙一う〜ん、解けない。残念です。

第12番. 真T 作 正解者 7名

偶数手ばか詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲なし
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

【作意手順】

18香 29龍 28角 38龍 17玉 29桂  
迄 6手

【作者コメント】

狙いは邪魔駒のための邪魔駒発生です。38龍、17玉、29桂が狙い筋ですが、26飛の利きで逃れ。そこで28角として飛の利きを遮りたいのですが、今

度は18に逃げ道ができてしまいます。なのでその28角のために18香とするというものです。38龍が駒取り、しかも成桂。余詰との戦いに敗れました。

★ 作者コメントで解説されていますので私の言うことはありません(笑)

ただ2つの限定合をこの駒数で表現しているのに感心しました。紛れは意外と少ないのですが、解き難かったという声が多かったことでも盲点に誘い込む巧みな技が感じられます。

#### 【短評】

真 T—第1～8番の粗悪品にしか見えませんね。

★そんなことはありません！(キッパリ)

橋本孝治—解くのは簡単ですが、たった6枚の初形で2種の駒打を限定させたのは巧いと思います。

香箱—この狭い場所で盲点に入ってしまうとは。解けてしまえば素直な順なのに不思議だ。

隅の老人 B—38成桂は何の為？29桂と打ちたいな、でした。

飯山修—盲点に入り込み一番苦戦しました。手が限られているのに不思議なものです。

赤土陽一—3八龍、2九桂と1七玉の詰上がりが見えるだけに、すぐに成桂を取らずに、1八と2八を両方埋めるという発想にはなかなかたどり着けませんでした。桂取りが見えている分読みやすかったです。

第十二問について：煮炊きして お重につめてはてんでこまい お預け食って ぐずりだす子供(3九龍) ちよつと字余りか

★これは保留(笑)

冬眠蛙—最初18を角で考えていたのでかなり回り道してしまいました。28の合駒でとつとかないといけないんですね。

---

#### 【総評】

橋本孝治—最近創作も解答もサッパリなのですが、さすがにこの位なら大丈夫です。作家にとっては「偶数手ばか詰」よりも「奇数手ば自」の方が作りやすそうに思いますが、そちらを扱う予定はないのでしょうか？

★私が苦手なもので・・・どなたかお願いします

香箱—後半4問、骨がある問題ばかり。数日間1題も解けずに大焦り。とくに12番、誤植じゃないか？とまで思いつめさせられました。

隅の老人 B—メリー クリスマス。たくぼんさん、早朝に目覚めて、吊した靴下を覗く。フェアリー好きなサンタから、解答の贈り物。クリスマス以外は暇で、いつも貴HPのフェアリーを楽しんでいます。今回もようやく解けて、クリスマスには、間に合いました。

飯山修—今回も楽しかったです。第3回は作品が揃ったということでもよいのでは。

★そうなりそうです。

赤土陽一—今回は手数が短かったからか、全部解答することが出来ました。また、第三回作品展が開かれるといいですね。

★作品は募集しますので出来たら送って下さいね。

---

#### 【解答成績】 全7名

全題正解：真 T、橋本孝治、香箱、隅の老人 B、飯山修、赤土陽一、

11 題正解：冬眠蛙

皆さん解答ありがとうございました。

とりあえず第3回は保留と言うことで投稿は受け付けますので、ある程度揃ったら開催ということをお願いします。

たくぼん